

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		御代志野々島線交通安全施設整備事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 上原哲也					
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名 上田 伸介					
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線) 2278					
予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3	事業連番	10082	法令根拠	成果優先度評価結果	1
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (19 ~ 23 年度)		単年度繰返(開始年度 年度)				コスト削減優先度評価結果		7	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	国道387の渋滞解消による熊本県施行国道交差点改良に伴い、接続する御代志野々島線L=400mの交差点改良を行う事業である。 国道387渋滞解消による交差点改良を熊本県と同時施行で計画し、平成19年度から事業開始となった。 事業開始時期は変則交差により渋滞が激しく通行に支障をきたしていた。今後は、交通量に応じた改良を行いスムーズな通行が出来る整備が必要とされる。
【業務の流れ】	・関係機関との協議 ・測量設計、用地交渉、工事
【主な予算費目】	・H20年度以降事業費は、公有財産購入費、補償補填及び賠償金、工事費、事務費(消耗品費)に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域住民並びに道路利用者からの渋滞解消の要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
用地買収	用地買収
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
⇒ ア 用地買収面積 m	イ 改良延長 m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
御代志野々島線道路	⇒ ア 全延長 m
⇒ イ	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
渋滞がなくなり、スムーズに通行できる。	⇒ ア 渋滞箇所数 箇所
⇒ イ	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 平成23年度工事に向けた用地買収	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	m ²	0	1496.2	1718.18	461.08	378.54	0	
	イ	m	0	0	0	0	0	400	
⑤ 対象指標	ア	m	400	400	400	400	400	400	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	箇所	0	10	10	10	10	10	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円	5,500	68,750	101,915	30,281	137,500	33,000
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	4,200	53,438	79,215	23,452	106,875	25,600
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	300	2,812	4,170	1,323	5,625	1,400
		(A) 事業費計	千円	10,000	125,000	185,300	55,056	250,000	60,000
	(A)のうち指定経費	千円							
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	6	10	2	6	2	2	
	延べ業務時間	時間	572	1,272	500	1,230	500	500	
	(B)人件費計	千円	2,271	5,088	1,990	4,895	1,990	1,990	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,271	130,088	187,290	59,951	251,990	61,990	0	

総トータルコスト 全体計画	
19 ~ 23 年度	360,415
(期間限定複数年度のみ記載)	279,990
	14,895
	655,300
	14
	2,572
	10,237
	665,537

合志市

事務事業名	御代志野々島線交通安全施設整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>用地交渉を継続しなければならない。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
課題は特になし。